(様式１)

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**医療分野研究成果展開事業**

**先端計測分析技術・機器開発プログラム**

**平成２９年度 研究開発提案書**

*研究開発提案書は【要素技術開発タイプ】、【先端機器開発タイプ】共通です。*

*斜め字は補足説明文ですので、提出時には削除してください。*

**研究開発提案書要約**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名(20字程度) | *本研究開発課題名は採択された場合にホームページや要覧等で公開されますので、それを踏まえて分かりやすく記載してください*。*｢開発チーム構成表｣と一致させてください。* |

*e-Rad入力はタイプ別の公募名に分かれています。｢e-Rad公募名｣および｢開発チーム構成表｣と不一致がないか確認してください。*

|  |
| --- |
| 研究開発代表者および連携体制の確認表 （該当する□を■に塗りつぶしてください） |
| 研究開発代表者 | □大学等□企業等□臨床医 | 氏名研究者番号生年月日所属機関所属部署職名E-mail | *(西暦)で記載ください。* |
| 研究開発分担者（ＳＬ） | □大学等□企業等□臨床医 | 氏名所属機関所属部署職名 | *サブリーダー以外の研究開発分担者および主要な参加研究者の情報は（様式７）に記載してください。* |
| 研究開発分担者（臨床医） | □大学等□企業等□臨床医 | 氏名所属機関所属部署職名 | *臨床医が上記の研究開発代表者あるいはサブリーダーと別の方の場合は記入してください。* |

|  |
| --- |
| 公募タイプの確認表（該当する□を■に塗りつぶしてください） |
| □　要素技術開発タイプ□　先端機器開発タイプ |

|  |
| --- |
| 公募内容の確認表（該当する□を■に塗りつぶしてください） |
| □＜治療・予防＞「将来の革新的な治療・予防につながる技術・機器及びシステムの開発」□＜診断＞「ターゲット（マーカーや症状）を測定するための診断技術・機器及びシステムの開発」□＜計測分析技術＞「ターゲット（マーカーや症状）を解明するための計測分析技術・機器及びシステムの開発」 |

*・開発計画に基づいて最も適切な開発期間及び開発費を申請してください。但し、本プログラムの趣旨を踏まえ、開発目標などを取り巻く状況、選考の観点、事業規模等を十分考慮し計画してください。*

*・開発開始は平成２９年８月1日としてください。*

*・開発費は直接経費と間接経費の合計金額で記載ください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 開発期間 | 平成　　年　月　日～平成　　年３月３１日 |
| 開発費 | 総額　：　　　　　　　*○○○,○○○* 千円　平成*（第1）*年度： 千円　平成*（第2）*年度：　　　　　　　　千円　平成*（第3）*年度：　　　　　　　　千円　平成*（第4）*年度：　　　　　　　　千円 |

*本申請内容が目指す開発の目的、達成する目標、医療として実現した際の革新性、貢献度（インパクト）等について、200字程度で記入してください。*

*本概要は、採択された場合にホームページや要覧等で公開されることを前提に、分かりやすく記載してください。*

|  |
| --- |
| 研究開発課題概要（２００字程度） |

|  |
| --- |
| キーワード（10単語以内）（非公開です） |

*提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**Summary of Proposal**

|  |  |
| --- | --- |
| Project title |  |

|  |
| --- |
| Principal investigator |

* Name
* Researcher ID(8 digits)
* Date of birth
* Affiliation
* Department
* Position title
* E-mail address

|  |
| --- |
| Abstract（400 Word maximum） |

|  |
| --- |
| Keywords (10 items maximum) |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

|  |
| --- |
| 研究開発内容の要約図 |

※研究開発内容の要約図はA4用紙１ページ以内にまとめてください。

※□内に開発する技術・機器・システムをイラストまたはブロック図などで図示し、その目的・特徴点・成果の簡潔な説明文を示して下さい。

※次ページに目標とする性能・使用や捕捉説明を記載してください。

*（例）*

基本原理/開発キー技術

*・申請者独自の着想・発想の基本原理や要素技術に基づいている*

*・従来の××方法ではできなかった××を可能にする××技術に基づいている　　等*

開発成果

*取得結果例*

*データ処理例/表示例*

*××等*

開発要素技術/開発機器・システム

*開発機器概略図、イメージ図*

*開発技術のブロック図　　等*

*・従来の××方法ではなしえなかった××の結果・成果が得られる*

*・従来の××方法における××特性を飛躍的に向上できる*

*対象試料/対象疾患*

*・従来にない××と××の技術・機能を融合した構成の機器（あるいはこれを目指す）*

*・従来にない××に特徴がある構成の機器*

*・飛躍的な性能向上のために××に特徴がある構成の機器　　　　　　等*

*・本申請では××試料を用いて性能検証を実施するとともに、××疾患への適用可能性を検討する　　　等*

将来の適用場面/医療での革新/新技術の創出

*・医療の××の場面に適用することにより、××技術や××方法について従来できなかった××を可能にする*

*・医療の××現場へ適用することにより、革新的な××技術や××方法の創出につなげる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など*

|  |
| --- |
| 【研究開発内容の要約図】説明 |
| 開発する技術・機器・システムの名称 | *15文字程度で簡潔に* |
| 性能・仕様 | *要約図に記載しきれなかった目標となる数値等（開発目標仕様）を具体的に記載ください。箇条書きが望ましいです。**（例）測定範囲　\*\*-\*\*\* pg/ml、検出時間\*\*秒以下　等* |
| 原理・キー技術 | *基盤となる技術シーズの原理、本提案での開発キー技術について記載してください。* |
| ニーズ | *開発の背景となるニーズ、開発対象の疾患やユーザー、開発の必要性を簡潔に記入ください。* |
| 医療として実現した際の革新性、貢献度（インパクト）等 | *開発する技術・機器・システムが実現した場合に、医療として何がどのように革新するのかや医療に対してどのような貢献をするのか、あるいはどのような診断・治療技術を創出するのか記載ください。* |

 (様式２)

*Ａ４用紙3～４枚程度*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**開 発 の 概 要**

１．研究開発課題名(20字程度)

２．研究開発の背景

*開発の背景となるニーズとそれに応えるべき技術・機器・システムの開発の現状について記載してください。*

３．研究開発の目的

*開発の背景を踏まえ、本提案書においてどのような目的で何を開発するのかについて、簡潔に記載してください。*

４．研究開発の目標

*開発期間終了時に達成を目指す技術的（性能的）な目標について、数値等を用いて具体的に記載してください。提案内容の臨床的な有用性を検討するため、対象となる疾患状態と目標値の設定根拠についても記述ください。*

*また、本提案の開発期間終了後、次フェーズへつなげるために必要となる課題についても記述してください。（例えば、知的財産取得のためのアクションや、医療現場での要求仕様の適合性検討のアクション、競合技術・機器のベンチマーク調査など。）*

５．研究開発目標の達成に向けた原理・技術の説明及び開発する技術の内容

*要素技術開発タイプの場合は、開発の基盤となる原理・技術の説明について記載してください。またそれを踏まえて開発される要素技術の内容について、予備的なデータを示して記載してください。*

*先端機器開発タイプの場合は、開発目標の達成の可能性を評価する上で、今まで行ってきた研究開発や予備実験などから得られたデータや調査結果などを用いて、開発の基盤となる原理・技術の説明について記載してください。またそれを踏まえて開発される機器・システムの内容について記述してください。*

６．研究開発する要素技術・機器・システムの新規性・優位性

*開発を行う技術・機器・システムの新規性・優位性について記載してください。*

*技術シーズとしてだけでなく、ニーズ視点から競合する技術・機器・システムに対する新規性・優位性も記述してください。*

７．研究開発の成果によって期待される医療の革新あるいは社会への貢献の内容

*開発する技術・機器・システムが実現することにより、医療の何をどのように革新することを目指すのかや、どのような貢献（インパクト）につながるのか、あるいは将来どのような診断・治療方法の創出につながるのか、記載してください。*

 (様式３)

*Ａ４用紙６～８枚程度*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**研 究 開 発 計 画**

１．研究開発実施体制

*図表を用い、参画する機関と研究開発分担者の氏名、役割分担をわかりやすく記載してください。*

*【留意点】*

*開発内容達成のために、代表機関を中心とした開発チームを編成することにより開発実施体制を構築することになりますが、開発推進上の効率化を図るため、実施場所の集約化に努めてください。なお、開発実施期間中の開発実施体制の変更は可能ですが、開発目標達成に支障をきたすと判断された場合、開発を中止する場合もあります。分担機関とあらかじめ十分調整の上、開発実施体制を構築してください。*

２．具体的な研究開発項目とその進め方

*次ページの｢３．開発スケジュール｣表に図示した具体的な開発項目とその進め方（研究開発ステップ）について説明を記載してください。各開発項目について、担当する研究開発分担者毎の役割分担をわかりやすく記載してください。また本提案の目標達成のためにキーとなる開発ステップと重要な節目（進捗の判断時期）、節目項目（判断項目）について説明してください。*

*【留意点】*

*研究開発課題の採択決定後、研究開発提案書を踏まえて全体研究開発計画書を作成・提出していただくことになります。この全体研究開発計画書には開発期間終了時に達成される最終目標と、これを踏まえた中間評価時点（第2年度10月を目処に実施）において達成されるべき節目目標を定めていただきます。中間評価実施に当たっては、設定された節目目標の達成状況が重要な評価基準のひとつとなりますので、研究開発提案書作成時においてもそれを念頭において記載してください。*

*研究開発の進め方の上で設定される重要な節目時期が中間評価時期と大きくずれが生じる場合は、その時期に判断したい理由や判断項目などを説明してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

３．研究開発スケジュール

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 開発項目 | 研究開発分担者氏名 | 平成*（第1）*年度 | 平成*（第2）*年度 | 平成*（第3）*年度 | 平成*（第4）*年度 |
| *・本表は開発工程図あるいはガントチャート（開発工程あるいはステップを→で示し、→の終点時期に何を判断してどの開発項目にフィードバックするのかわかりやすく図示する図表）です。**・開発項目ごとの開発内容や開発ステップを矢印などで示し、各開発項目間の関連がわかるように記載してください。（重要な進捗判断をする時期を●や★で表記し、判断結果がどの開発項目にフィードバックがかかるのか関連がわかるように記載するなど工夫してください）**・開発年度は平成（第1）年度を平成２９年度などと記載してください。**・初年度（第1年度）は開発開始を８月1日と想定し、中間評価（第2年度10月を目処に実施予定）を考慮して研究開発のステップと節目時期を計画してください。**・中間評価時期の欄は、第２年度の中間に◎を記入してください。**・PowerPoint等で作成した図表を貼り込んで頂いても結構です。**・要素技術開発タイプは平成（第４）年度の欄を削除してください。* |  |  |  |  |  |
| 中間評価時期 |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

４．研究開発スケジュールの詳細

*前記｢３．研究開発スケジュール｣について、実施する開発内容を年度ごとの開発内容と目標（各年度末までに、各研究開発分担者が各開発項目をどのような状態にまで進めるのか）記載してください。*

*要素技術開発タイプは平成（第４）年度を削除してください。*

平成*（第1）*年度

平成*（第2）*年度

平成*（第3）*年度

平成*（第4）*年度

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

５．研究開発目標を実現する上でキーとなる開発ステップ、予想される問題点とその解決策

*本プログラムは、革新度の高い技術シーズを核とした提案を推進するプログラムです。そのため、実施してみないとわからない開発項目を含んでいることも想定しています。本提案の最終目標値を達成するためにキーとなる最重要開発ステップは何で、生じると予想される問題点・懸念点と、それをどのように解決するかについてリスク回避策、バックアップ策やリカバリー策などを記載してください。*

６．研究開発成果の、医療現場あるいは研究現場での活用・普及に至るまでのプロセス

*本提案の開発終了後、社会実装、実用化に向けた展開の仕方について、開発終了後１０年程度を目処に、年度ごとに記載してください。記載に当たっては、可能な限り、体制、方策（活用を考える公的支援など）等について言及してください。*

７．倫理面の配慮（該当する場合のみ記述してください。）

*生命倫理及び安全の確保に関し、研究開発代表者及び研究開発分担者が所属する機関の長等の承認・届出・確認等が必要な開発については、必ず所定の手続きを行っておく必要があります。必要な手続きについて記載してください。（公募要領「Ｖ．４．本プログラムを実施する研究機関の責務等について」を参照してください。）*

*なお、以上を怠った場合又は国の指針等（文部科学省ホームページ「生命倫理・安全に対する取組」*

[*http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html*](http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html)

*を参照)に適合しない場合には、選考の対象から除外され、採択の決定が取り消されることがありますのでご注意ください。*

*また、開発計画上、相手方の同意・協力や社会的コンセンサスを必要とする開発又は調査を含む場合には、人権及び利益の保護の取扱いについて、必ず申請前に適切な対応を行っておいてください。*

(様式４)

*Ａ４用紙1～２枚程度*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**知 的 財 産 等 に つ い て**

1. この申請に関連する基本特許等がありましたら記載してください。

*研究開発する技術、機器・システム等に関する基本特許等（国内外の公開特許、実用新案、プログラム、データベース）がありましたら、申請者（研究開発代表者、研究開発分担者等）の出願済みの公開公報、取得済み特許等を含めて記載してください。開発する技術、機器・システム等に関する基本特許について、｢見なし取り下げ｣状態になっている状態、特許権有効期限などの理由で実用化時期に｢誰でも自由に使える状態｣になる場合はその状態も記載してください。*

*知財情報の記載例*

*名称：「●●の診断に関する方法」*

*公開番号：\*\*\*\*\*\*\*\*（審査請求有無や審査査定結果など）、特許番号\*\*\*\*\**

*出願人：○○大学*

*発明者：●●　●●、▲▲　▲▲、■■　■■*

*発明の概要：●●の診断に用いるマーカーの検出方法に特徴がある発明*

２．本プログラムの研究開発成果を実施（医療現場で実用化）する際、支障となる競合他社等の特許がありましたら記載してください。その場合に、回避する手段（迂回、無効化、ライセンス受託等）等も記載してください。

*技術シーズの視点だけでなく医療現場のニーズの視点からも調査を行い、先行技術の知的財産の状況や問題の有無と回避する手段を記載ください。*

３．その他関連する先行技術（特許、論文等の公知資料）がありましたら記載してください。

４．研究開発を実施する上での知的財産権の戦略的な取得の考え方及びライセンス方針について記載してください。

*知的財産権の管理体制についても記載してください。また、上記１．～３．の知財および公知情報の状況を踏まえて、開発を実施する上での知的財産権の戦略的な取得の考え方及びライセンス方針について記載してください。*

 (様式５)

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**開 発 経 費**

１．費目別・年度別内訳 （単位：千円）

| 費　　　　　目 | 平成*（第1）*年度 | 平成*（第2）*年度 | 平成*（第3）*年度 | 平成*（第4）*年度 | 合計 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| a. 物品費(設備備品費) | *・開発目的に対する経費の妥当性を審査するため、各費目は機関毎に分けて、年度毎に記載してください。**・審査する視点は、有効に使用されることが見込まれるものか、他の経費で措置されることがふさわしい内容となっていないか、購入を計画している開発設備等は、開発遂行上必要不可欠なものであるか等です。**・選考の過程で、必要に応じて購入品目等の詳細な内訳や見積書等の提示をお願いすることがあります。**・採択条件として、開発期間の短縮や開発費の削減を行うことがあります。**・要素技術開発タイプは平成（第４）年度の欄を削除してください。* |  |  |  |  |
| （内　訳）*代表機関Ａ**●●装置**参画機関Ｂ**××測定器* |  |  |  |  |  |
| b. 物品費(消耗品費) |  |  |  |  |  |
| （内　訳）*機関別に記載* |  |  |  |  |  |
| c. 旅費 |  |  |  |  |  |
| （内　訳）*機関別に記載* |  |  |  |  |  |
| d. 人件費・謝金 |  |  |  |  |  |
| （内　訳）*機関別に記載* |  |  |  |  |  |
| e. その他(外注費) |  |  |  |  |  |
| （内　訳）*機関別に記載* |  |  |  |  |  |
| f. その他(その他経費) |  |  |  |  |  |
| （内　訳）*機関別に記載* |  |  |  |  |  |
| 直接経費小計 |  |  |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の30％以下） |  |  |  |  |  |
| 開発費合計（注） |  |  |  |  |  |

（注）「開発費合計」欄には、直接経費と間接経費の合計額を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

２．設備備品内訳

*該当する設備がない場合は、設備名に｢なし｣と記載し、不要な空欄は削除してください。*

*記入欄が不足する場合は、必要に応じて、行を追加して記載してください。*

1. 主な現有設備

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 仕様製造会社名型式 | 用途 | 使用年数 | 主として使用する開発者 | 所有機関 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

1. リース・レンタルにより調達する主な設備（総費用が２００万円以上のもの）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 仕様製造会社名型式 | 用途 | 使用予定年数 | 主として使用する開発者 | 使用機関 | リース・レンタル予定時期 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

1. 購入予定の主な設備（購入価格が２００万円以上のもの）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 仕様製造会社名型式 | 用途 | 主として使用する開発者 | 使用機関 | 納入予定時期 |
|  |  |  |  |  | 　年　月 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

 (様式６)

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**他制度での助成等の有無など**

本様式に記載いただく内容は、研究資金の「重複提案の制限」や「過度の集中の排除」、及び内閣府の保有する「政府研究開発データベース」への登録等に利用されることがあります。

*・研究開発代表者および研究開発分担者は必須で記載ください。申請中及び申請予定のものも含めて主要メンバーとして進めているものについて、様式に従い１テーマ・課題ごとに課題名、予算額（申請者が計上している総予算額と年度毎の予算額）、期間、役割（代表者、あるいは共同研究者等）、本プログラムとの仕分・関連性を明記してください。*

*・同一の方が複数の制度で助成を受けている場合、欄を追加してください。*

*・競争的資金制度に該当しないものであっても研究費助成制度は全て記載してください。*

*・研究開発代表者および研究開発分担者以外の主要な参加研究者についても、記載頂くことは可能です。*

１．他制度での助成等の有無（申請中、申請予定も含む）

・研究開発代表者（氏名：　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 制度名 |  |
| 課題名 |  |
| 予算額 |  |
| 期間 |  |
| 上記課題における役割 |  |
| 本申請との関連性 |  |

・研究開発分担者（ＳＬ）（氏名：　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 制度名 |  |
| 課題名 |  |
| 予算額 |  |
| 期間 |  |
| 上記課題における役割 |  |
| 本申請との関連性 |  |

・研究開発分担者（氏名：　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 制度名 |  |
| 課題名 |  |
| 予算額 |  |
| 期間 |  |
| 上記課題における役割 |  |
| 本申請との関連性 |  |

（注）研究開発分担者は全員記述することとし、欄が足りない場合は適宜追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

２．エフォート（専従割合）

*研究開発代表者及び研究開発分担者についてエフォートを％で示してください。エフォートとは、研究開発代表者あるいは研究開発分担者が携わる研究・開発・その他業務全体時間（研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動や管理業務等を含めた実質的な全仕事時間）を１００％としたときの、本プログラムに専従する時間割合です。*

*e-Rad研究者番号は取得が間に合わなかった研究開発分担者は｢取得中｣と記載してください。*

*研究開発代表者および研究開発分担者については必須で記載し、その他主要な参加研究者についても記載いただくことが可能です。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 所属機関名 | 氏名 | e-Rad研究者番号 | エフォート率(%) |
| 研究開発代表者 |  |  |  |  |
| 研究開発分担者（ＳＬ） |  |  |  |  |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |
| 主要な参加研究者 |  |  |  |  |

３．キーワード・分野

*公募要領の別紙２｢e-Radにおける研究分野一覧｣を参照し、申請課題に該当する研究分野の細目番号（４桁の数字）および細目名と、該当するキーワードを記入してください。キーワードは研究分野細目に紐付いていますので、ご注意ください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野（主） | 細目番号（４桁）（必須） |  |
| 細目名（必須） |  |
| キーワード（必須） |  |
| 研究分野（副） | 細目番号（４桁）（必須） |  |
| 細目名（必須） |  |
| キーワード（必須） |  |

(様式７)

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**研 究 開 発 チ ー ム**

*・研究開発チームを構成する、研究開発代表者、研究開発分担者を記入してください。公募要領「IV. ２．（３）研究開発提案書作成上の注意」に従って、所属する機関の同意を確認し、「所属機関の同意」欄に☑を入れてください。*

*・代表機関については、公印を押印した承諾書（様式９）のPDFをe-Radへ添付して申請いただきます。*

*・研究開発代表者および研究開発分担者については必須で記載し、その他主要な参加研究者についても記載いただくことが可能です。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発代表者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署・職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス |  |
| 所属機関の同意 | □済み |
| 代表機関主要な参加研究者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署・職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス |  |
| 所属機関の同意 | □済み |
| 研究開発分担者（ＳＬ） | 氏名フリガナ所属機関所属部署・職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス |  |
| 所属機関の同意 | □済み |
| ＳＬ所属の分担機関主要な参加研究者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署・職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス |  |
| 所属機関の同意 | □済み |
| 研究開発分担者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署・職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス |  |
| 所属機関の同意 | □済み |
| 上記分担機関の主要な参加研究者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署・職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス |  |
| 所属機関の同意 | □済み |

(注) 研究開発分担者は全員記述することとし、欄に過不足がある場合は適宜追加・消去してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

*代表機関の経理担当者、契約担当者、知財担当者、事務連絡担当者について記入してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 代表機関・経理担当者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス | *・経理担当者とは、代表機関において開発費に係る経理管理（預金口座の管理、会計帳簿への記帳・整理保管、機器設備等の発注及び管理など）の実務を行う方です。**・開発参加者が兼務することは出来ません。* |
| 代表機関・契約担当者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス | *・契約担当者とは、代表機関においてAMEDとの委託契約の締結に当たり、案文の調整、再委託先機関との連絡・調整に関する実務を行う方です。**・開発参加者が兼務することは出来ません。* |
| 代表機関・知財担当者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス | *・知財担当者とは、代表機関において本申請の研究開発成果に係る知的財産の管理に関する実務を行う方です。開発を行う者が兼務することが可能ですが、知的財産の取得・管理方法に精通し、代表機関の知的財産部署と連携が取れる方としてください。* |
| 代表機関・事務連絡担当者 | 氏名フリガナ所属機関所属部署職名郵便番号住所ＴＥＬメールアドレス | *・事務連絡担当者とは、研究開発代表者に代わって連絡を取りやすい方で、計画書・報告書・計画変更手続き等のAMEDへ提出する書面作成や、評価やサイトビジット等に係わる日程調整等について研究開発代表者をサポートする方です。**・秘書の他、研究開発代表者の元で開発を行う参加研究者が兼ねることが出来ます。* |

(様式８)

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発代表者名 |  |

**開 発 者 デ ー タ**

*・研究開発代表者および研究開発分担者については必須で記載し、その他主要な参加研究者についても記載いただくことが可能です。*

1. 氏名（フリガナ）
2. 所属機関・所属部署・職名
3. 生年月日、年齢（平成29年4月1日現在）、性別
4. 研究者番号（府省共通研究開発管理システム（e-Rad）により取得したもの）
5. 最終学歴及び研究開発歴(主な職歴と研究開発内容)

*（記入例）*

*昭和◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了*

*昭和◯◯年～◯◯年　◯◯大学◯◯学部助手*

 *◯◯◯◯◯について研究を行い、◯◯◯◯◯の要素技術を構築*

 *昭和◯◯年～◯◯年　◯◯研究所　研究員*

 *◯◯◯◯◯◯◯◯◯に関する研究開発に従事し、◯◯◯◯◯装置を製作*

 *平成◯◯年～◯◯年 ◯◯大学◯◯学部教授*

 *◯◯◯について研究を行い、民間企業と共同で◯◯◯◯◯システムを完成*

1. 主要文献

*研究開発課題の内容に限り、近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち重要なもの５件程度を選んで、現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。開発者が筆頭著書のものについては頭に＊印を付けてください。*

*（記載項目）*

*著者（著者は全て記入してください。）・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年）*